

平成 29 年度岩手県自主防災組織実態調査

概 要 版

この概要版は、平成 29 年 1 1 月から平成 30 年 3 月に県内の自主防災組織を対象に実施した「自主防災組織実態調査」結果の主要項目をまとめたものです。

岩手県総務部総合防災室

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

県内の自主防災組織の実態及び課題を把握し、自主防災組織の組織率向上及び活性化を推進する方策を検討するため、実態調査を実施する。

(2) 調査の設計

- ・ 調査対象：岩手県内の自主防災組織
- ・ 調査方法：郵送配布・郵送回収
- ・ 調査期間：平成 29 年 11 月から平成 30 年 3 月まで
- ・ 配布数：2,236 組織

(3) 回収状況

対象数	回収数	回収率
2,236 組織	1,794 組織	80.2%

◎報告書の見方・注意事項

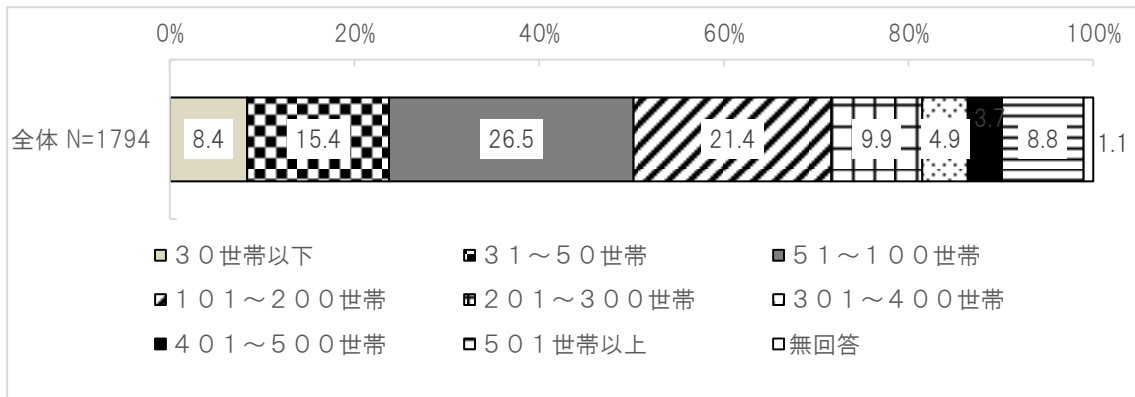
- ※回答の多くは各質問の回答者数（N）を母数とした百分率（％）で示しています。
- ※百分率は小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が 100% にならないことがあります。
- ※1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答”の設問では、回答比率の合計が 100%を超える場合があります。
- ※地域区分は、各広域振興局の管内を単位としています。なお、組織名について記載のなかった 24 組織は、県全体のグラフのみ集計されています。

広域圏	市町村
県央広域振興圏	盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町
県南広域振興圏	花巻市、北上市、遠野市、一関市、奥州市、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町
県北広域振興圏	久慈市、二戸市、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町
沿岸広域振興圏	宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村

2. 調査結果

1 <組織及び地域の状況について>

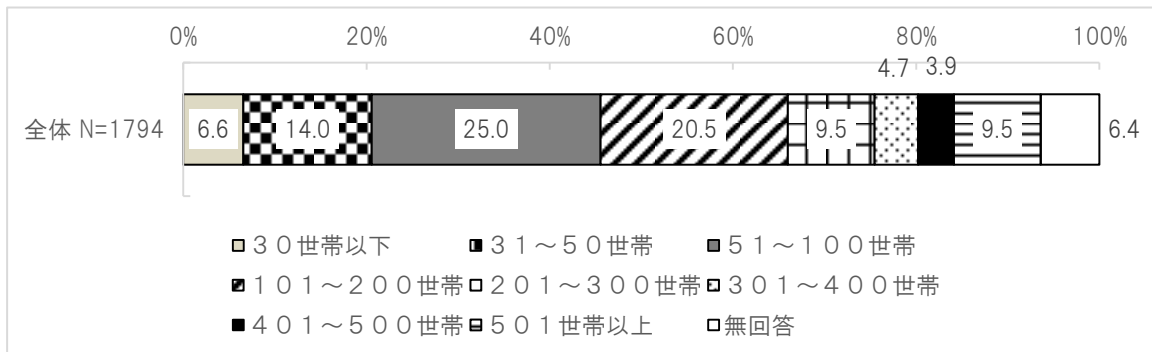
問1. あなたの自主防災組織の加入世帯数を教えてください。[いずれか一つに○を]



自主防災組織の加入世帯は、「51～100世帯」が26.5%で最も多く、次いで「101～200世帯」が21.4%、「31～50世帯」が15.4%となっている。

『200世帯以下』（「30世帯以下」から「101～200世帯」）までの合計）でみると、71.7%となっている。

問1-2. あなたの自主防災組織がカバーしている世帯数を教えてください。[いずれか一つに○を]



自主防災組織がカバーしている世帯は、「51～100世帯」が25.0%で最も多く、次いで「101～200世帯」が20.5%、「31～50世帯」が14.0%となっている。

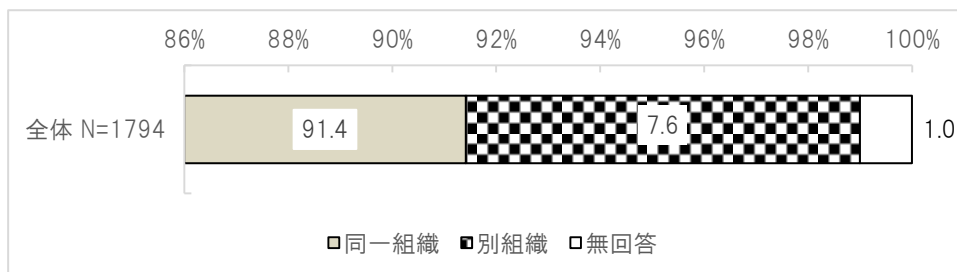
『200世帯以下』（「30世帯以下」から「101～200世帯」）までの合計）でみると、66.0%となっている。

問1と問1-2の比較表（無回答を除く）

	問1		問1-2	
	200世帯以下	201世帯以上	200世帯以下	201世帯以上
全体	72.4	27.6	70.5	29.5
県央	51.3	48.7	50.5	49.5
県南	78.5	21.5	77.8	22.2
県北	85.6	14.4	74.8	25.2
沿岸	77.4	22.6	74.5	25.5

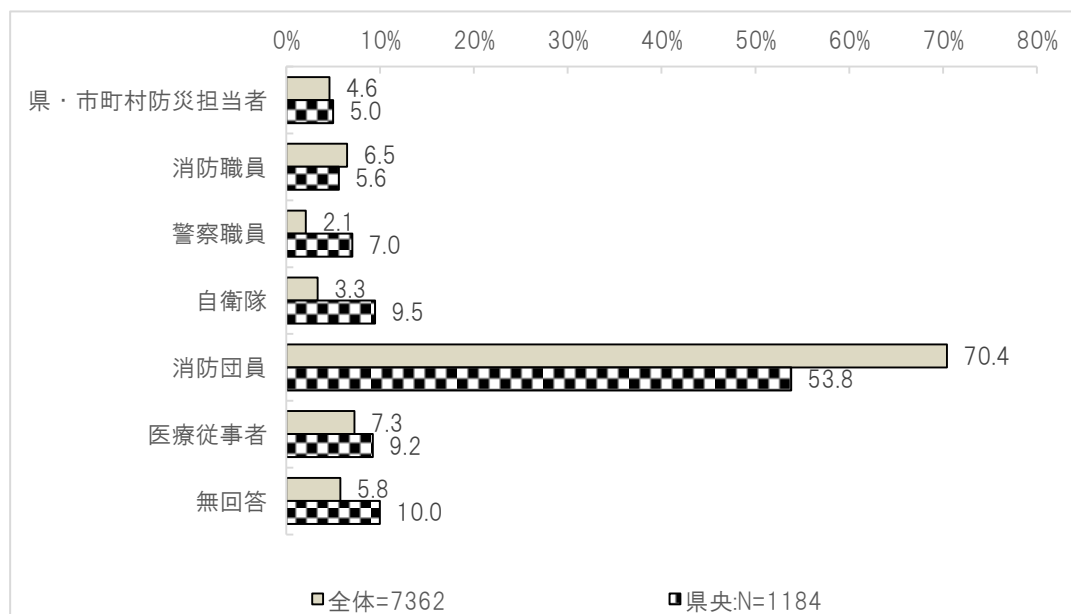
問2. あなたの自主防災組織は、町内会（自治会）組織と同一ですか、別組織ですか。[どちらか1つに○を]

***自主防災活動に係る経費を別会計としている場合や役員が異なる場合でも、構成している世帯や区域が町内会と同一の場合は「同一組織」として回答してください。**



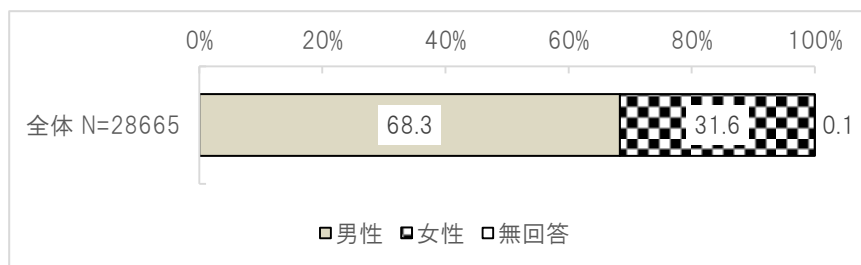
自主防災組織と町内会の組織構成は「同一組織」が 91.4%、「別組織」が 7.6%となっている。

問3. あなたの自主防災組織の役員の中で、防災関係機関の経験者（現役・OB）は何人いますか。[あてはまるものに人数を]



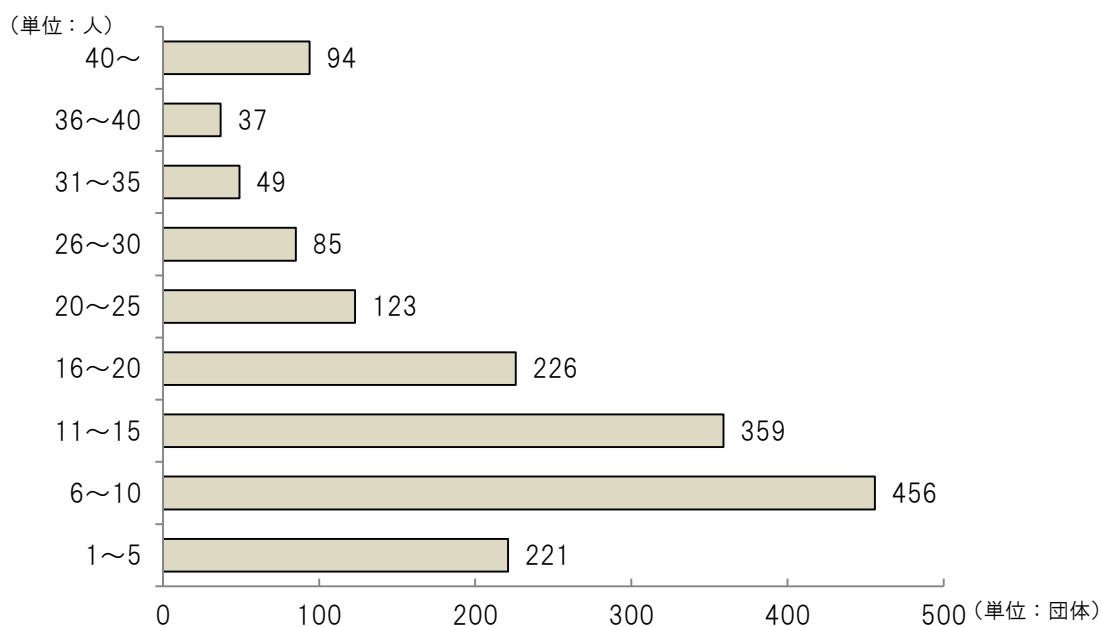
自主防災組織の役員の中で防災関係機関の経験者数は、「消防団員」が 70.4%と最も多く、その他は、「医療従事者」の 7.3%、「消防職員」6.5%、「県・市町村防災担当者」4.6%など 1割に満たない割合となっている。

問4. あなたの自主防災組織の役員の中で、男性と女性はそれぞれ何人いますか。
 [それぞれの人数を]



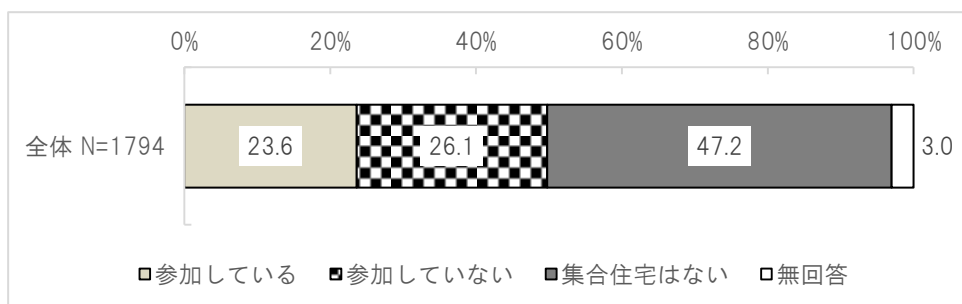
自主防災組織について、「男性」が68.3%、女性が31.6%で、男性の割合が女性の割合の2倍以上となっている。

■ 自主防災組織の役員数

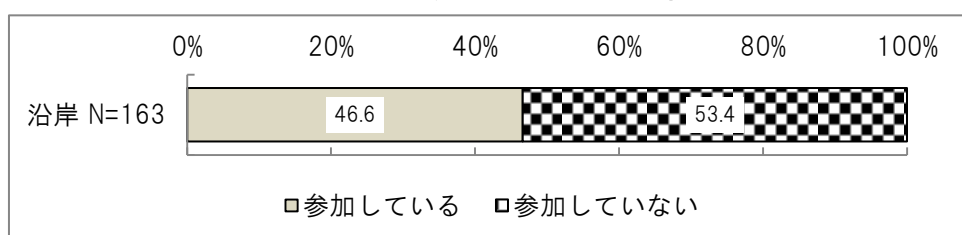


役員的人数は6～10人が最も多く、次いで11～15人となっている。

問5. あなたの自主防災組織の地域では、集合住宅（アパートやマンションなど）に住んでいる方も自主防災活動に参加していますか。[どちらか1つに○を]



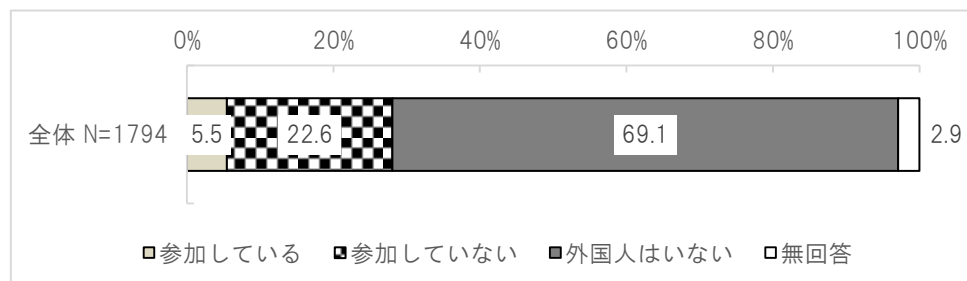
■集合住宅の参加状況（集合住宅はない、及び無回答を除いた中での割合）



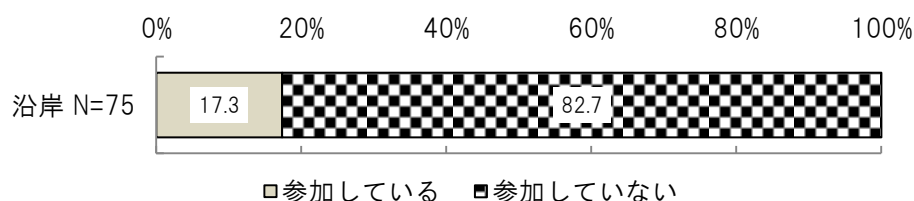
集合住宅がある地域において住民の自主防災活動への参加状況は、「参加している」が47.0%、「参加していない」が53.0%と、それぞれほぼ半分の割合。

問6. あなたの自主防災組織の地域では、外国人も自主防災活動に参加していますか。

[どちらか1つに○を]



■外国人の参加状況（外国人はいない、及び無回答を除いた中での割合）

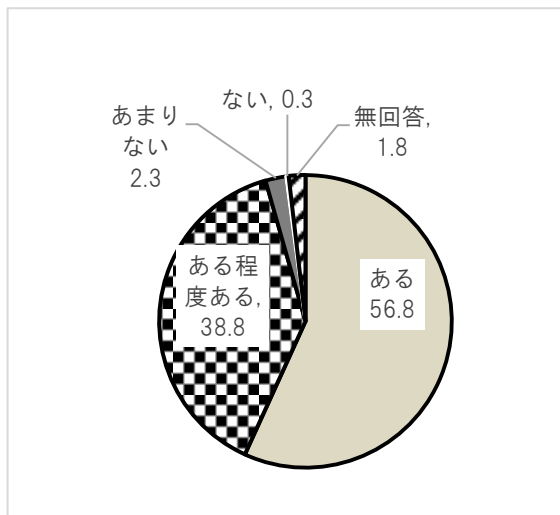


外国人がいる地域における外国人の自主防災活動への参加状況は、「参加している」が19.5%にとどまっている。

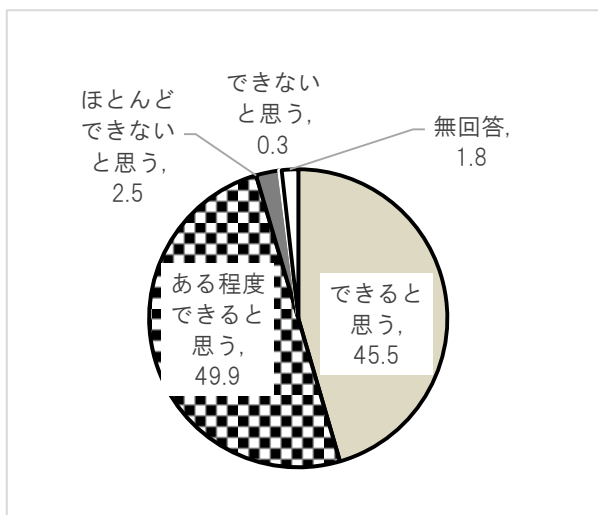
問7. あなたの自主防災組織の地域では、普段からお隣同士やご近所同士の付き合いがありますか。

問8. あなたの自主防災組織の地域では、災害が発生した時、お隣同士やご近所同士で助け合うことができると思いますか。[いずれか1つに○を]

【普段からのお隣・ご近所付き合いの有無】



【災害発生時、お隣・ご近所での助け合いの可否】



普段からのお隣・ご近所付き合いの有無は「ある」が56.8%、「ある程度ある」が38.8%で、『付き合いがある』（「ある」と「ある程度ある」の合計）は95.6%となっている。

災害発生時、お隣・ご近所での助け合いの可否は、「ある程度できると思う」が49.9%と最も多く、「できると思う」が45.5%となっている。『助け合いができる』（「できると思う」と「ある程度できると思う」）の合計は、95.4%となっている。

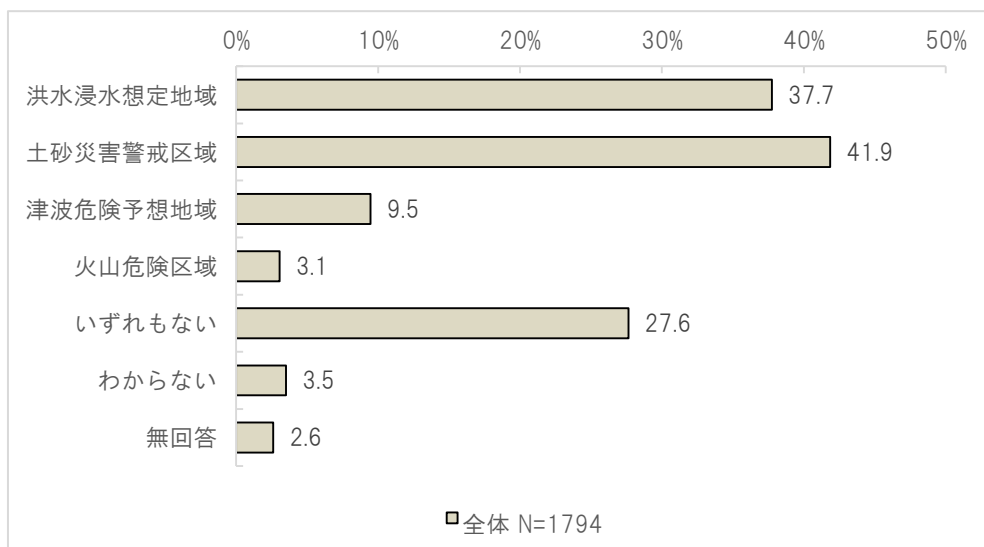
問8. 「ほとんどできなと思う」に回答した主な理由

- ・集合住宅（アパート）・若者が多い。
- ・共働きが多く日中家にいない。高齢者が多い。
- ・緊急時、役員が集まれない。
- ・普段から、交流がないから。
- ・自分の家族の事で精一杯と思う。

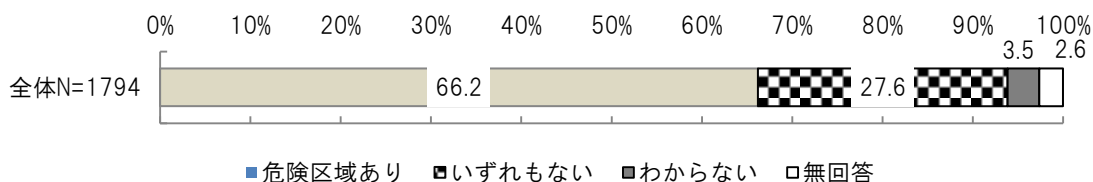
問8. 「できないと思う」に回答した主な理由

- ・近所同士の付き合いがない。
- ・近所付き合いがあるものの、自宅の高齢者を助けることで精一杯。
- ・高齢化。
- ・自分のことで手一杯。
- ・防災活動の理解不足。

問9. あなたの自主防災組織の地域には、以下の危険区域がありますか。[あてはまるものに○を]



■危険区域を有する組織の割合



自主防災組織の地域にある危険区域は、「土砂災害警戒区域」が41.9%と最も多く、次いで「洪水浸水想定地域」が37.7%、「いずれもない」が27.6%と続いている。「津波危険予想地域」は9.5%、「火山危険区域」は3.1%とそれぞれ1割に満たない割合となっている。

豆知識

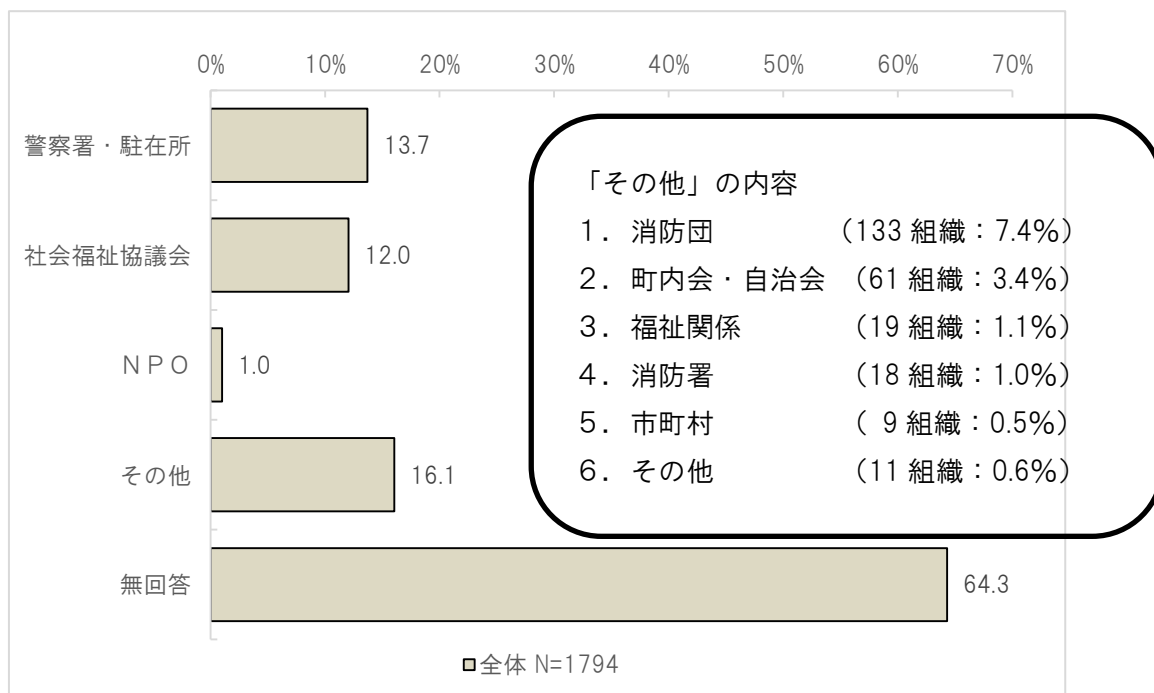
自分の住む地域を知る

ご自分が住む地域がどんな災害に弱いのか（川が近く洪水が起きやすい、地域全体の地盤が弱い、急傾斜地が近くにあり土砂崩れなどが心配など）、避難しようとするときどこを歩いて行けばよいか、どんな施設が地域にあるかなど地域を知ることが、いざ災害が起きたときに知っておくと早く行動がとれます。

災害が少ない地域だと思っても、近年の災害には想定出来ないものが多くあり、いつ何時突然の豪雨や地震があるかわかりません。そのために災害時に通行できなくなるなどの「弱み」、災害時に活用できる施設があるなどの「強み」を知ることによって減災にもつながるものです。

このように知ることの出来たものを地図に反映して「防災マップ」を作ることも防災活動にとっては大切なことです。

問 10. あなたの自主防災組織の地域では、自主防災組織以外で防災活動をしている組織・団体はありますか。[あてはまるものに○を]



自主防災組織以外で防災活動をしている（と認識している）組織・団体は「警察署・駐在所」が13.7%、「社会福祉協議会」が12.0%で共に、1割程度となっている。「NPO」は1%となっている。

お知らせ その1

自主防災組織リーダー研修会

県では、毎年県内の自主防災組織の指導的立場またはその補佐をする方、これから自主防災組織を結成しようとする方、市町村防災担当職員を対象にリーダー研修会を開催しています。

例年、岩手県消防学校で開催しており、クロスロードゲーム、避難所運営ゲーム（HUG）、気象台の講演（防災活動への気象情報の活用など）、自主防災組織の活動や組織運営に関わる講演、隣接する防災センターでの講習、テーマに沿った意見交換など行っています。

開催場所については、消防学校以外の沿岸部や他の内陸部で開催も視野に入れ、今後においても継続するものです。

是非、ご参加ください！

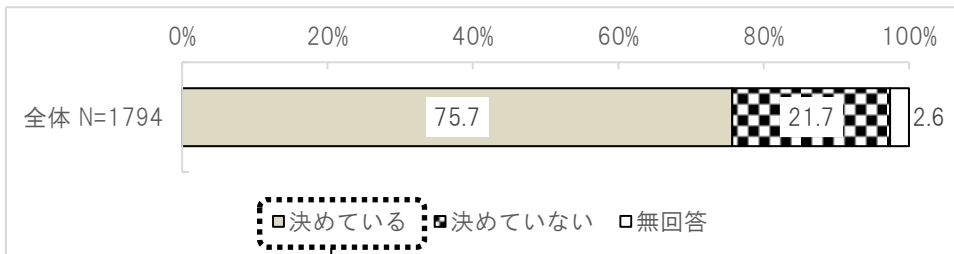
2 <活動状況について>

問 11. あなたの自主防災組織は、平常時や災害発生時の役割分担や担当者を決めていますか。

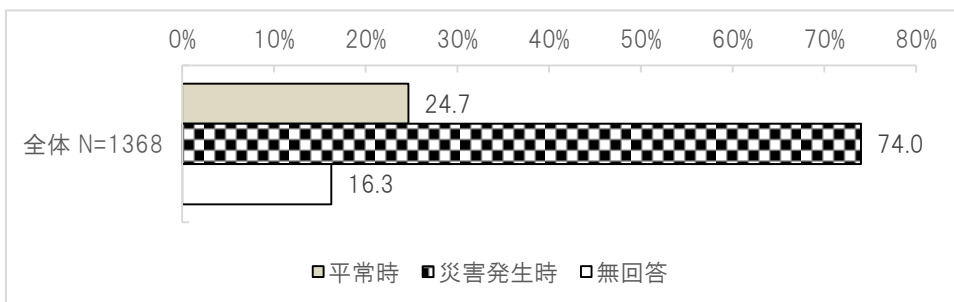
[あてはまるものに○を]

問 11-1. 決められている役割分担や担当者。[あてはまるものに○を]

【役割分担や担当者を決めているか】



【決められている役割分担や担当者】



自主防災組織の役割分担や担当者は、「決めている」が75.7%、「決めていない」が21.7%となっている。

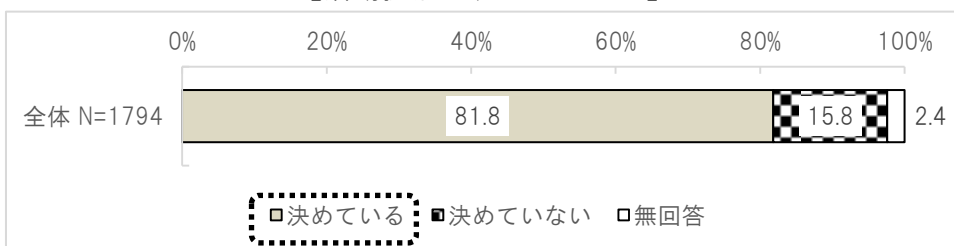
自主防災組織の平常時や災害発生時に決められている役割分担や担当者について、「平常時」は24.7%、「災害発生時」は74.0%となっている。

問 12. あなたの自主防災組織は、平常時や災害発生時の活動拠点を決めていますか。

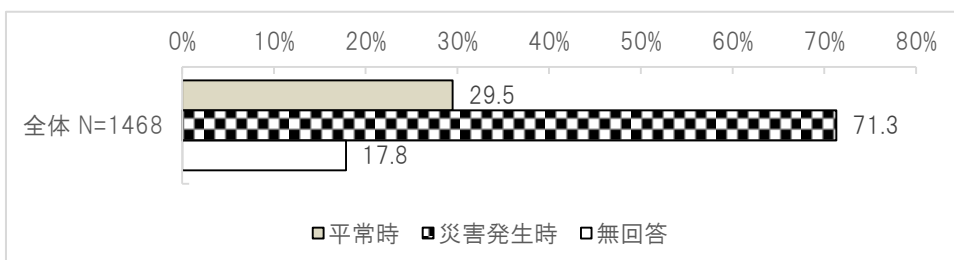
[あてはまるものに○を]

問 12-1. 決められている活動拠点。[あてはまるものに○を]

【活動拠点を決めているか】



【決められている活動拠点】



自主防災組織の平常時や災害発生時に決められている活動拠点について、「決めている」が81.8%、「決めていない」が15.8%となっている。

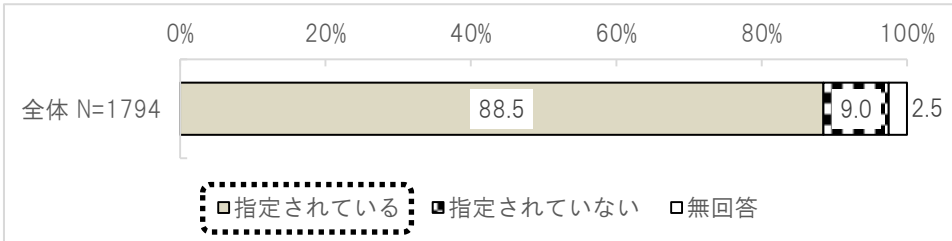
自主防災組織で決められている平常時や災害発生時の活動拠点について「平常時」は29.5%、「災害発生時」は71.3%と7割を超えている。

問 13. あなたの自主防災組織の地域では、指定緊急避難場所や指定避難所が指定されていますか。

[あてはまるものに○を]

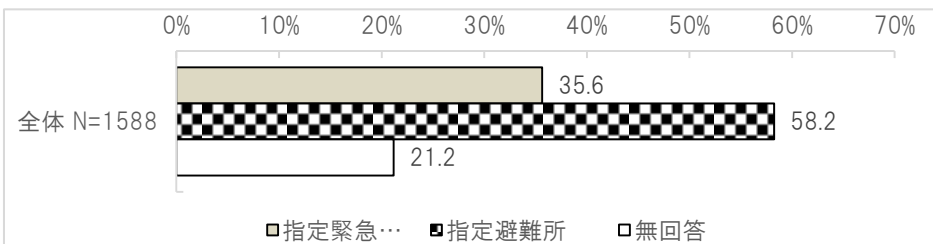
問 13-1. 指定されている指定緊急避難場所や指定避難所。[あてはまるものに○を]

【指定緊急避難場所や指定避難所の指定】



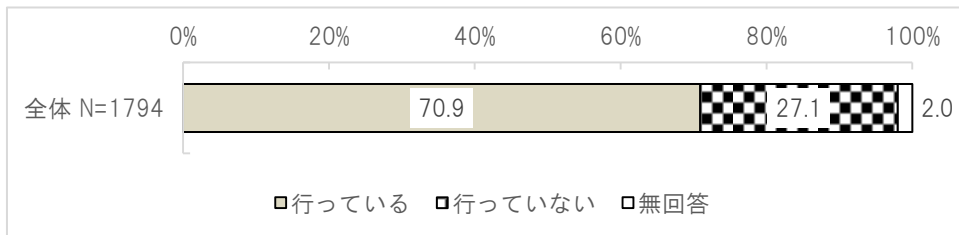
指定緊急避難場所や指定避難所について、「指定されている」が88.5%、「指定されていない」が9.0%となっている。

【指定されている指定緊急避難場所や指定避難所】



指定されている指定緊急避難場所や指定避難所では「指定緊急避難場所」は35.6%、「指定避難所」は58.2%となっている。

問 14. あなたの自主防災組織は、防災に関する研修や訓練を行っていますか。[どちらか1つに○を]



防災に関する研修や訓練について、「行っている」が70.9%、「行っていない」が27.1%となっている。

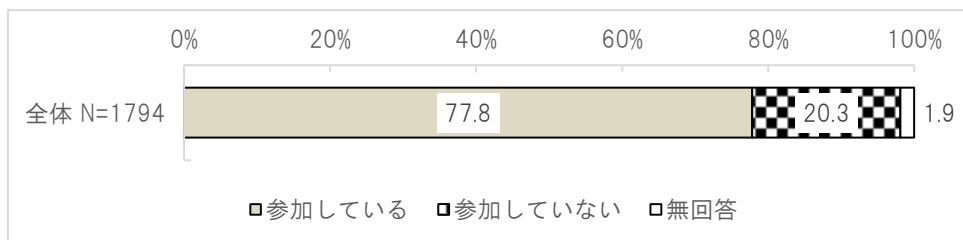
■主な研修：

役員研修会 防災講習（学習）会 防犯・防災セミナー 防災ビデオ鑑賞
 防災士や専門家による講話・講演会 防災センター見学 情報交換会 被災地研修
 消防学校や防災センターを利用した研修 リーダー研修会

■主な訓練：

避難訓練 通報訓練 情報伝達訓練 消火訓練 水防訓練 図上訓練 クロスロード
 市町村の総合防災訓練 消防団や消防署と協働した訓練 要支援者等安否確認訓練 炊出し訓練
 避難所設営訓練 夜間の避難・誘導訓練 津波避難訓練 土砂災害避難訓練 水害避難訓練
 救命・応急手当講習会 防災用具の点検・使用方法の講習（発電機、AED、トランシーバー等）
 地区内公道点検 地域内危険箇所点検 ハザードマップ・防災マップの作成 土のう作り

問 15. あなたの自主防災組織は、市町村や消防署などが主催する防災講演会や防災セミナーなどに参加していますか。[どちらか1つに○を]

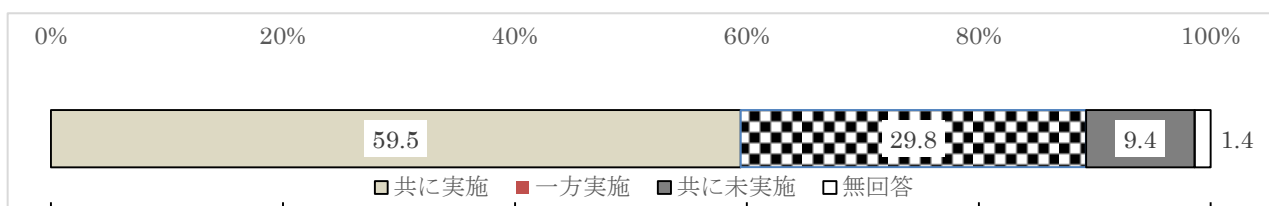


防災講演会や防災セミナーの参加について「参加している」が77.8%、「参加していない」が20.3%となっている。

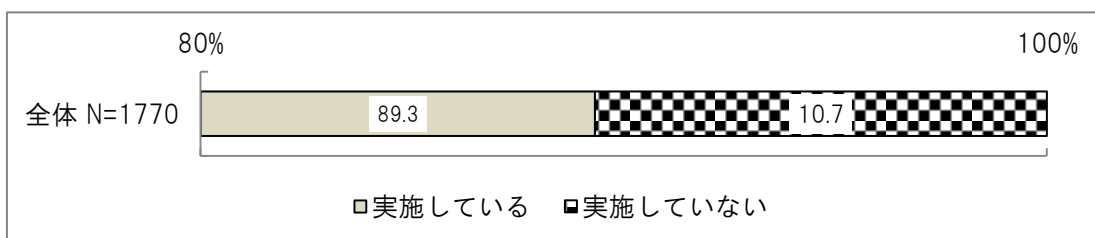
■問 14. 「自主防災組織による防災に関する研修や訓練の実施」と、問 15. 「市町村や消防署などが主催する防災講演会や防災セミナーなどへの自主防災組織の参加」のクロス集計

		市町村や消防署などが主催する 防災講演会や防災セミナーへの参加		
		参加している	参加していない	無回答
防災に関する 研修や訓練	行っている	1067	193	12
	行っていない	314	168	4
	無回答	15	3	18

問 14. の「行っている」と問 15. の「参加している」を選択した 1,067 件を「共に実施」、問 14. の「行っている」か、問 15. の「参加している」のどちらか一方を選択した 534 件を「一方実施」、問 14. で「行っていない」を選択し、かつ問 15. で「参加していない」を選択した 168 件を「共に未実施」、問 14. で「行っていない」か問 15. で「参加していない」を選択し一方が無回答か、いずれも無回答を選択した 25 件を「無回答」として整理したものが以下である。

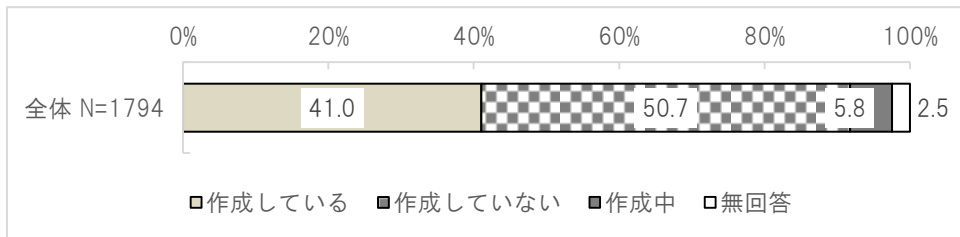


■自主防災組織による研修・訓練の実施、講演会・セミナーへの参加のうち、どちらか一方を実施



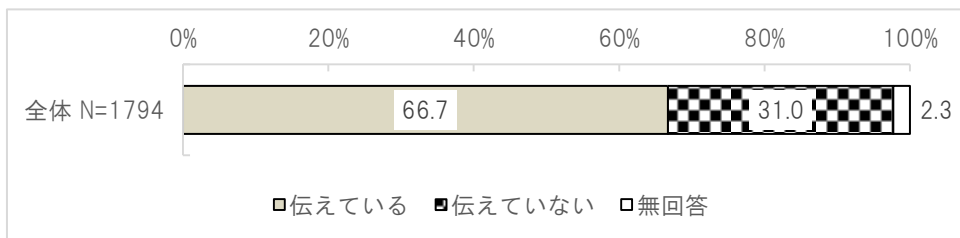
約9割(89.3%)の組織が、研修会・講演会を実施するか、市町村等が主催する講演会・セミナーに参加(もしくは両方)している。

問 16. あなたの自主防災組織は、地域の危険箇所や主要施設が記載された地域防災マップを作成していますか。[どちらか1つに○を]



地域防災マップの作成について「作成している」が41.0%、「作成していない」が50.7%、「作成中」が5.8%となっている。

問 17. あなたの自主防災組織は、回覧板やメールなどにより、防災関連の情報を各世帯に伝えていますか。[どちらか1つに○を]

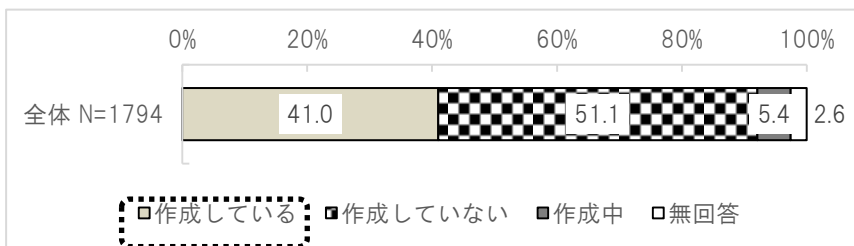


防災関連の情報について「伝えている」が66.7%、「伝えていない」が31.0%となっている。

問 18. あなたの自主防災組織は、平常時や災害発生時の活動マニュアルを作成していますか。[どちらか1つに○を]

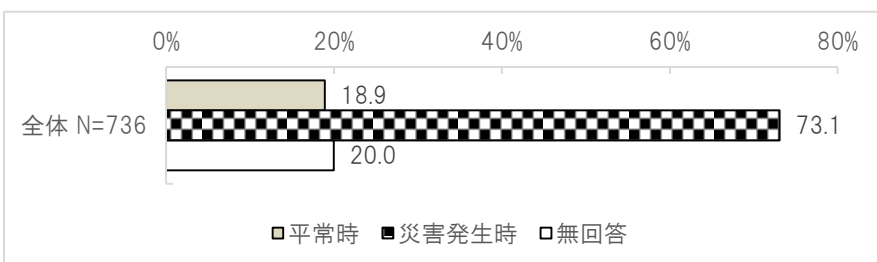
問 18-1. 作成されている活動マニュアル。[あてはまるものに○を]

【活動マニュアルの作成】



活動マニュアルの作成について「作成している」が41.0%、「作成していない」が51.1%、「作成中」が5.4%となっている。

【作成されている活動マニュアル】



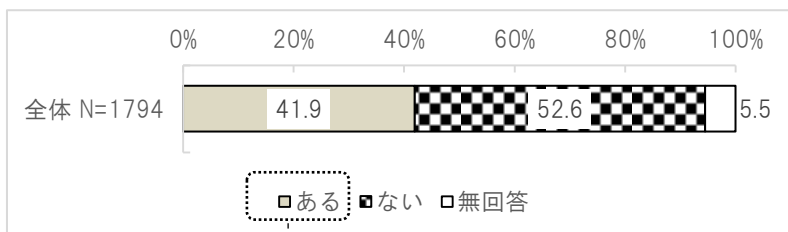
自主防災組織で作成している平常時や災害発生時の活動マニュアルの作成について、「平常時」は18.9%、「災害発生時」は73.1%となっている。

問 19. あなたの自主防災組織内にある避難所には、避難所運営マニュアルがありますか。

[あてはまるものに○を]

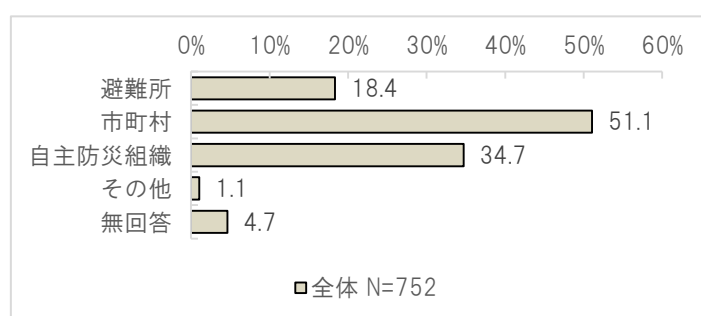
問 19-1. 避難所運営マニュアルの作成者。[あてはまるものに○を]

【避難所運営マニュアルの有無】



避難所運営マニュアルの有無について「ある」が41.9%、「ない」が52.6%となっている。

【避難所運営マニュアルの作成者】



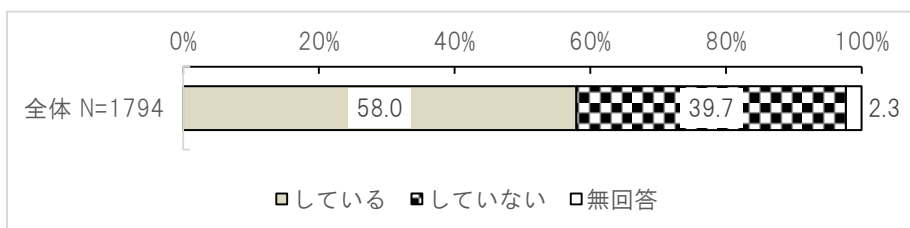
避難所運営マニュアルの作成者について「市町村」が51.1%と最も多く、次いで「自主防災組織」が34.7%、「避難所」が18.4%などとなっている。

問 20. あなたの自主防災組織は、ジャッキやバールなどの防災用資機材を備蓄・保管していますか。

[どちらか1つに○を]

問 20-2. 「主に保管しているもの」はどのようなものですか。[あてはまるものに○を]

【防災用資機材の備蓄・保管】



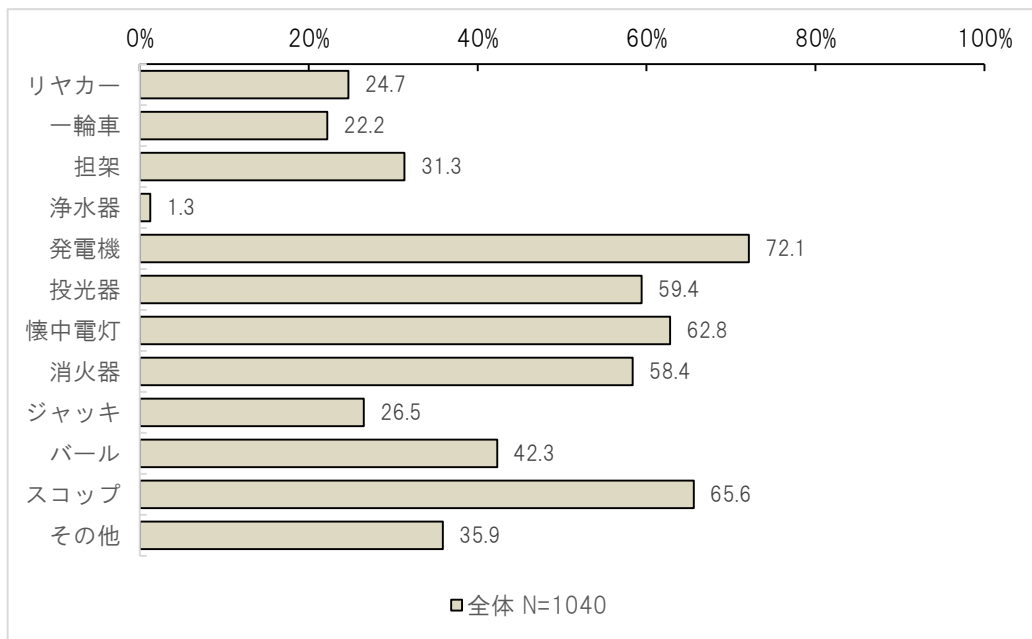
防災用資機材の備蓄・保管について「している」が58.0%、「していない」が39.7%となっている。

「主に保管しているもの」は、「発電機」が72.1%と最も多く、次いで「スコップ」が65.6%、「懐中電灯」が62.8%、「投光器」が59.4%、「消火器」58.4%などとなっており、これらの資機材が5割を超える割合となっている。

その他の主なもの

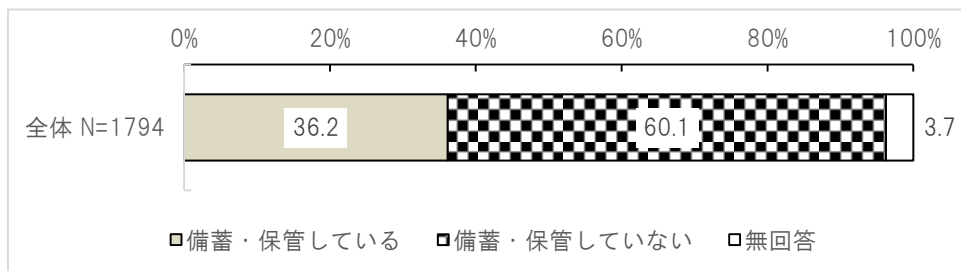
・ テント ・ ヘルメット ・ トランシーバー ・ 拡声器 など

【主に保管しているもの】



問 21. あなたの自主防災組織は、応急手当のための救護用品を備蓄・保管していますか。

[どちらか1つに○を]



救護用便の備蓄・保管は、「備蓄・保管している」が36.2%、「備蓄・保管していない」が60.1%となっている。

お知らせ
その2

自主防災組織連絡会議

県では、毎年県内の自主防災組織のリーダーまたは町内会などで地域防災活動の中心として活動している方、市町村防災担当職員を対象に連絡会議を開催しています。

例年、盛岡市内を会場に防災に関する講演、活動事例紹介、テーマに沿った意見交換などを行っています。

意見交換においては、他の自主防災組織や地域の活動や考え方などを聞いていただき、自分の組織や地域の活動や取組の参考としていただけるものとしています。

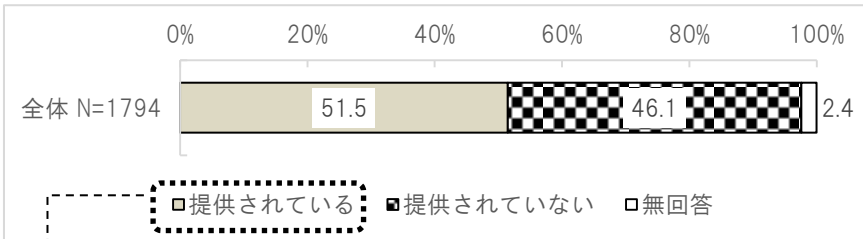
県内の各地域（内陸、沿岸、県北、県南）から参加いただいていますので、是非、ご参加ください！

問 22. あなたの自主防災組織には、市町村から避難行動要支援者名簿を提供されていますか。

問 22-2. 「提供されている」場合、要支援者ごとに対する支援者を指定していますか。

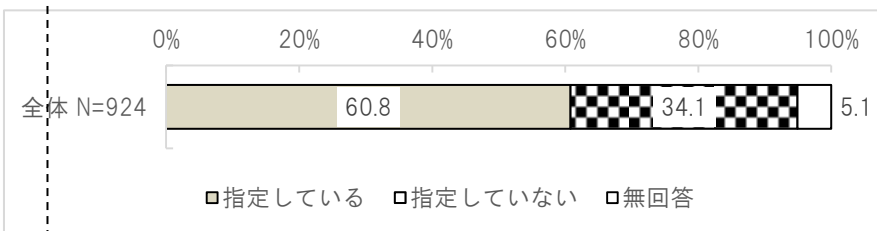
問 22-3. あなたの自主防災組織が実施または参加する避難訓練、防災訓練に避難行動要支援者は参加していますか。[問 22、22-2、22-3 とも、どちらか1つに○を]

【避難行動要支援者名簿の提供】



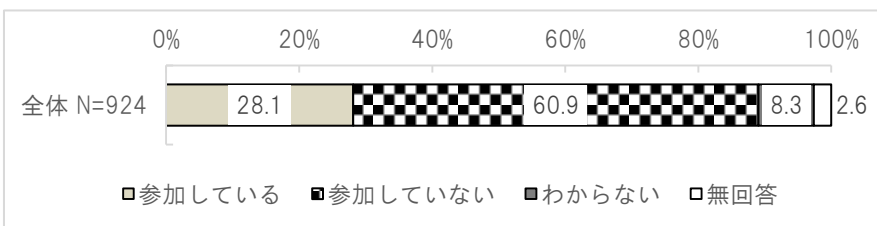
市町村からの避難行動要支援者名簿提供について「提供されている」が51.5%、「提供されていない」が46.1%となっている。

【要支援者ごとに対する支援者の指定】



要支援者ごとの支援者の指定について「指定している」が60.8%、「指定していない」が34.1%となっている。

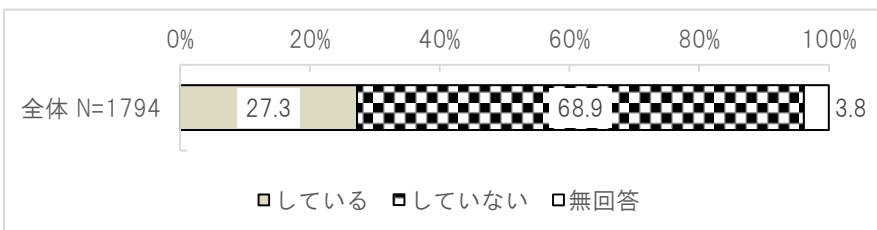
【訓練への避難行動要支援者の参加】



避難訓練・防災訓練への避難行動要支援者の参加について「参加している」が28.1%、「参加していない」が60.9%となっている。

問 23. あなたの自主防災組織は、自主防災組織が行う活動への参加者を増やす取組をしていますか。[どちらか1つに○を]

【自主防災組織が行う活動への参加者増加の取組】



自主防災活動参加者増加の取組について「している」が27.3%、「していない」が68.9%となっている。

問 23-2. どのような取組をしていますか。その取組を具体的に記入してください。

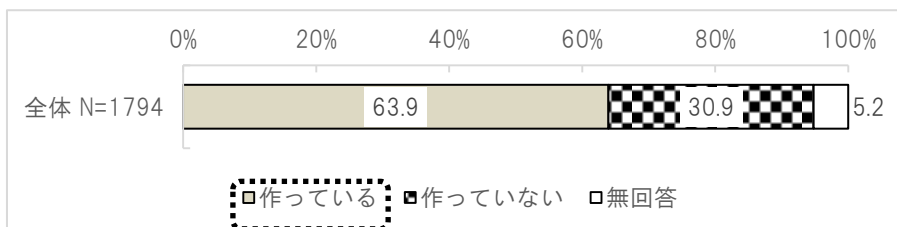
<主な取り組み>

- ・ 回覧、チラシ、広報等による呼びかけ、
- ・ 訓練・研修会等の実施・参加の呼びかけ
- ・ 町内会等の行事、イベントと組み合わせた取り組みの実施
- ・ 消防関連行事との組み合わせの実施、
- ・ 班長を通じた呼びかけ
- ・ 役員への働きかけと役員による声かけ、
- ・ P T A や若年層への勧誘・声かけ

問 24. あなたの自主防災組織は、地域の組織（消防署、消防団、学校、病院、企業、災害時要援護者利用施設など）と協力関係を作っていますか。[あてはまるものに○を]

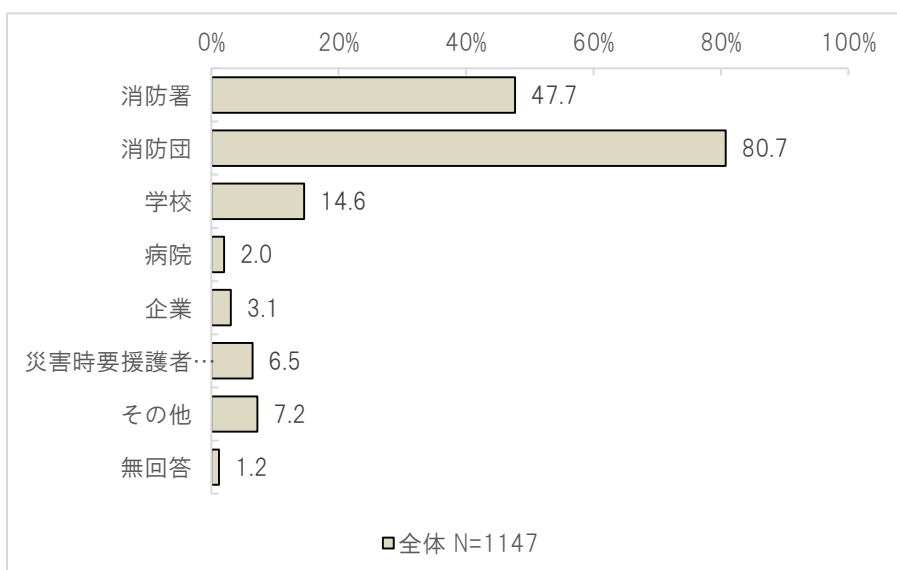
問 24-1. 自主防災組織と協力関係を構築している地域の組織。[あてはまるものに○を]

【地域の組織との協力関係を作っていますか】



地域の組織との協力関係構築について「作っている」が 63.9%、「作っていない」が 30.9%となっている。

【自主防災組織と協力関係を構築している組織】



自主防災組織と協力関係を構築している地域の組織は、「消防団」が 80.7%と最も多く、次いで「消防署」が 47.7%、「学校」14.6%などとなっている。

問 25. あなたの自主防災組織が抱えている組織上の課題がありましたら記入してください。

主なもの

- ・ アパート、マンション等の集合住宅入居者の不参加
- ・ 参加者、役員等の高齢化による人材不足
- ・ 若年層の減少、参加が低調
- ・ 平日、日中に活動できる人材が仕事等で地域に不在となる
- ・ 地域の戸数が少なく、活動に支障が出ている
- ・ 自治会と同一組織、役員の兼務（重複）、固定化
- ・ 役員が任期で変わるため、活動が定着しない
- ・ 防災に詳しい人材がない
- ・ 資機材や活動予算の不足
- ・ 要支援者への対応が困難

問 26. あなたの自主防災組織が抱えている活動上の課題がありましたら記入してください。

主なもの

- ・参加者、役員の高齢化により活動が低調
- ・若年層の参加が少ない
- ・アパート、マンション等集合住宅入居者の参加、協力関係の構築
- ・どんな活動をしたらよいか分からない
- ・活動の停滞、活動への参加者が少ない
- ・現役世代の参加が難しい（仕事との両立が難しい）
- ・日中に活動できる人が少ない
- ・個人情報保護法により独居世帯等の把握が難しい
- ・災害の経験がないことなどにより、防災に対する意識が低い
- ・予算（活動費、資金）の不足
- ・防災資機材の不足
- ・世帯数減少により活動が難しくなっている
- ・防災訓練への参加者が少ない
- ・防災等に詳しい人がいない
- ・防災無線が聞こえない
- ・要支援者への対応が難しい

お知らせ その3

岩手県地域防災サポーター

平成25年度から県では、地域防災サポーター制度を創設し、防災に関して様々なスキルを持った方（消防職員OB、自治体職員OB、防災士など）を登録し、県内の自主防災組織、町内会、学校などの要望に応じてサポーターを派遣しています。

要望のある内容は、防災全般の基礎知識、自主防災組織の活動や運営、家庭など身近な防災対策、地域での防災対策、地域などの防災訓練の提案・講評、防災マップ作成講習会、各種ゲーム（クロスロードゲーム、避難所運営ゲームなど）、学校防災に関わる講話など多岐にわたっています。

ご自分が参加する自主防災組織や地域などで「どうやって自分の身を守るか」「自助・共助とは」「どんな活動をしたらよいか」などご要望の際には、市町村防災担当、県総合防災室にご相談ください。

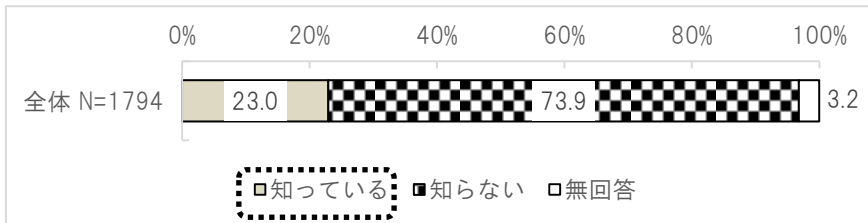
3 <課題や県・市町村への要望等について>

問 27. 県が行っている「岩手県地域防災サポーター制度」を知っていますか。

[どちらか1つに○を]

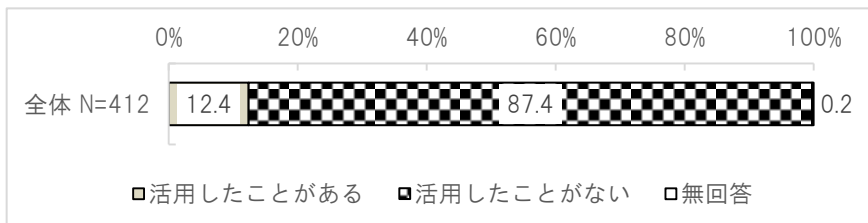
問 27-2. 地域防災サポーターを活用したことがありますか。 [どちらか1つに○を]

【「岩手県地域防災サポーター制度」を知っていますか】



「岩手県地域防災サポーター制度」について「知っている」が23.0%、「知らない」が73.9%となっている。

【「地域防災サポーター」を活用していますか】

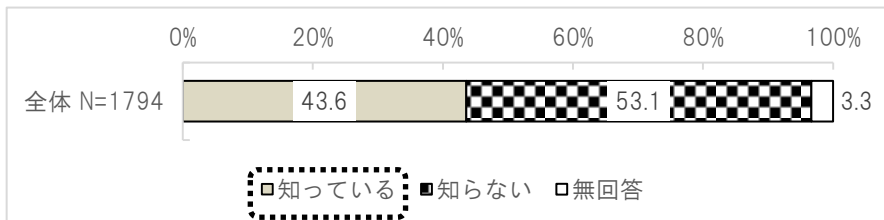


地域防災サポーターの活用について「活用したことがある」が12.4%、「活用したことがない」が87.4%となっている。

問 28. 県が開催している「岩手県自主防災組織リーダー研修会」や「岩手県自主防災組織連絡会議」などを知っていますか。 [どちらか1つに○を]

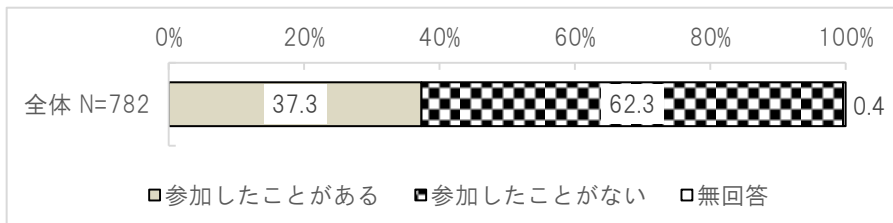
問 28-2. 「知っている」場合、研修会などに参加したことがありますか。 [どちらか1つに○を]

【「岩手県自主防災組織リーダー研修会」や「岩手県自主防災組織連絡会議」などを知っていますか】



「岩手県自主防災組織リーダー研修会」や「岩手県自主防災組織連絡会議」について「知っている」が43.6%、「知らない」が53.1%となっている。

【「岩手県自主防災組織リーダー研修会」や「岩手県自主防災組織連絡会議」への参加の有無】



研修会などへの参加について「参加したことがある」が37.3%、「参加したことがない」が62.3%となっている。

問 29. 自主防災組織について、県への要望がありましたら記入してください。

主なもの

- ・ 研修会、講習、セミナー等の情報を提供してほしい
- ・ 地方部での研修会の開催（出前講座）、平日以外での開催
- ・ 自主防災組織のマニュアル等の例を示してほしい
- ・ 活動資金、予算の助成、補助、・ 防災用資機材の提供、補助
- ・ 県の事業内容や活動状況の周知、広報、・ 市町村の自主防災組織、活動に関する指導
- ・ 自主防災組織の先進事例の紹介

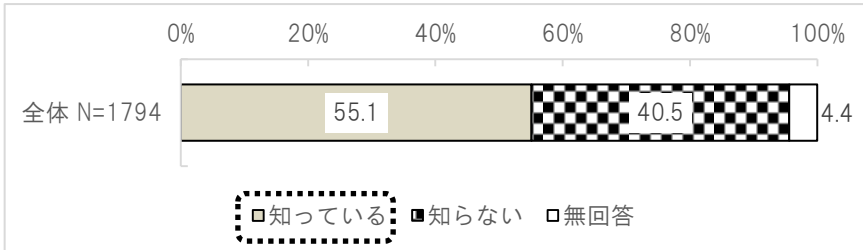
問 30. お住まいの市町村の、自主防災組織に対する支援について知っていますか。

[どちらか1つに○を]

問 30-2. 「知っている」場合、市町村の支援を利用・活用したことがありますか。

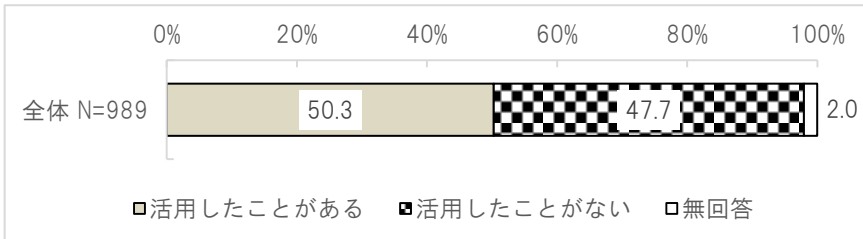
[どちらか1つに○を]

【市町村の自主防災組織に対する支援について】



市町村の自主防災組織に対する支援について「知っている」が55.1%、「知らない」が40.5%となっている。

【市町村の支援を利用・活用】



市町村支援の利活用について「活用したことがある」が50.3%、「活用したことがない」が47.7%となっている。

問 31. 自主防災組織について、市町村への要望がありましたら記入してください。

主なもの

- ・ 補助・助成手続きの簡素化、代行、・ 防災用資機材の提供、助成
- ・ 自主防災活動や避難所運営等のマニュアル等の情報提供
- ・ 活動資金、予算の補助、助成、・ 他の活動事例の紹介
- ・ 防災ラジオの配布や防災無線の難聴地区の解消など、緊急時の情報伝達の確保
- ・ 時期や対象者を考慮した研修会、セミナー等の開催、・ 災害時要支援者名簿の情報提供
- ・ 避難施設の改修（トイレの洋式化等）、・ 自主防災活動に関する指導
- ・ 自主防災活動への若年層の参加のあと押し
- ・ 他の自主防災組織との連携強化や情報交換の場を設けてほしい

問 32. その他ご意見がありましたら記入してください。

主なもの

- ・ 行政からのアンケートや要請が多く、ボランティアとしての町内会長では対応しきれない現状があります。
- ・ 自主防災組織を普及させる為の活動はありがたいですが制度とか大きな組織とか敷居の高いものを作れば作るほど、書類、事務負担が会社並となり片手間では行えなくなり将来担う人がいなくなりやがて解散せざるをえなくなります。簡素化を要望します。
- ・ 防災無線を設置してほしい（速かな情報は、お金に変えられない）※何事もホームページでと言われますがホームページは高齢者には無理と思います。
- ・ 毎年実施している訓練にどうしても必要な若者が会社勤務のため休めず参加出来ないのが残念である。そのため在宅の役員数人と老人から（比較的な元気な方）の協力で実施している。小・中学生の生徒も部活動などで参加出来ないのが残念である。
- ・ 既存組織との位置付けが具体的にわからないので、安否確認程度にしている
- ・ 訓練を行うのに、町内会単独で行うには難しい面がある。これが組織はあるが活動できていない要因かと思う。市なり県が入っていっしょに行ったり、助言をしたりとか、手助けをしてやり、単独でもできる力を持たせることが必要かと思う。
- ・ 県民の自主防災組織の認知度は、あまり高くないと感じています。県、市は自主防災組織の必要性・重要性もっと積極的にアピールする事で、各自主防災組織の活動を後押ししてもらいたい。
- ・ 現職世代が、防災活動に参加出来る制度・体制を作ることを考えてほしい。休みをとらないと参加できない、しかし、防災のために自分の休みをとるほど余裕がない。
- ・ 行政の指示の下、自主防災会を組織したのだが、組織を立ち上げた途端、行政からの支援がないと感じる。人が少ない過疎地域では、1人何役も地域の役職を担っているため、負担が大きい。
- ・ 高齢1人世帯については地区会においても検討しているが個人情報や個人の意向もあり、画一的な対応が難しくなっている。
- ・ 自分たちの出来る事は自分たちでやる。自主防災組織の基本を地域住民にしっかり定着するよう、意識の動機付けに力を貸して欲しい。
- ・ 組織も大切と考えるが、自分自身の防災知識・隣・近所の協力、家族同志の防火知識の向上に、もっと意識を向けて、全体の災害軽減を図る事も必要と考える。
- ・ 組織を作るのは良いが、発災時に老人と子供しかいない時間も考えられる。その時にいる人だけで協力する方法を考える必要がある。
- ・ 町内会の役員は高齢化になっている。若い人達は役員になってもらえない。防災組織の維持はむずかしい。
- ・ 防災土養成に力を入れていただきたい。
- ・ 防災用資機材の整備に係る支援（助成）をお願いしたい。